

兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2009 4



3月24日㈫コープこうべ協同学苑にて、兵庫JCC主催による「協同組合研究・交流会」が開催されました。
(関連記事P.4)

— 人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして —

兵庫県生活協同組合連合会 創立60周年記念事業

兵庫県生協連合会は、賀川豊彦が1950年に創立して以来、来年2010年に60周年を迎えます。これを記念する取り組みとして歴史の節目にふさわしい記念事業を企画するため、2009年4月より「兵協連60周年記念事業委員会」「兵協連60周年記念誌作成委員会」を設置し、来年に向け準備をスタートさせることが、去る2月2日(月)に行われた第4回理事会において承認されましたのでお知らせいたします。

今後、委員会の検討内容や兵庫県生協連の歴史のふりかえりなど、連載でご紹介します。



創立時、兵協連の事務局があった神戸消費組合本部・神戸市生田区中山手通4丁目(1948年11月)

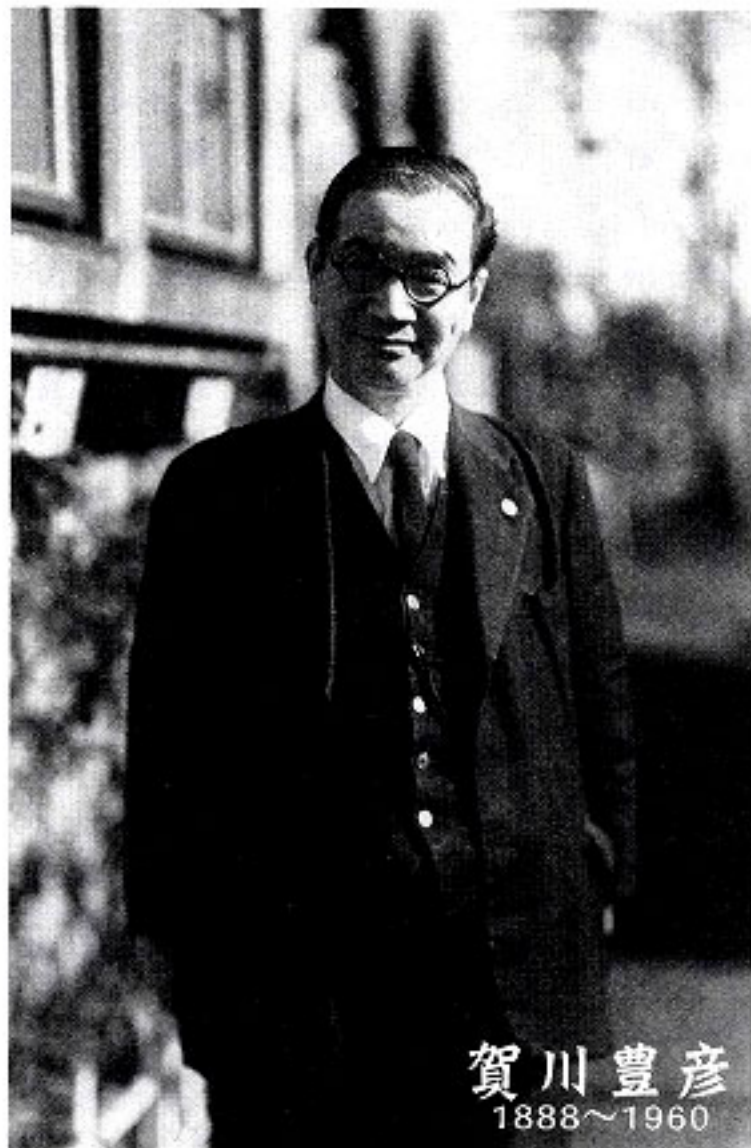


現在、兵協連事務局が置かれている兵庫県民会館(2009年3月)

賀川豊彦 献身100年

賀川豊彦が神戸での活動を開始して、今年12月で100年を迎えます。兵庫県では井戸兵庫県知事、矢田神戸市長を顧問に迎え、今井鎮雄氏(神戸YMCA顧問)を委員長とする「賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト委員会」が2007年4月に結成されました。兵庫県生協連もこのプロジェクトに参画し、他団体と共同して取り組みを進めています。今年3月には、グラミン銀行を設立し2006年にノーベル平和賞を受賞したバングラデシュのムハマド・ユヌス氏をお迎えして、神戸プロジェクト委員会と神戸大学の共催によるシンポジウムを神戸で開催しました。今後もさまざまな記念事業が展開されます。

今月号より、賀川豊彦献身100年に関する情報や賀川の活動の歴史の紹介など、連載でご紹介します。



賀川豊彦
1888~1960

■ 社会のグランドデザイナー

1909年12月24日、21歳の賀川豊彦は貧困にあえぐ人々のために献身しようと、当時、劣悪な環境で生きることを強いられた人々が生活する地域に入っていました。賀川豊彦は当時死の病と恐れられていた肺病を病み、余命幾ばくもないと宣言された身体でしたが、貧困と差別のただなかにあって困難を抱えた人々と共に暮らし、徹底してこれらの人々のために働いたのです。

その1909年から1923年までの14年にわたる神戸での活動は福祉の向上を目指してキリスト教伝道にはじまり、労働運動、協同組合運動(生活、農業、漁業、林業、医療、共済)、平和運動、無政党活動に発展しました。その働きは、神戸に留まらず、関東大震災の救援を契機に日本全国に広がりました。

豊彦は、福祉、教育、医療、生産、労働、協同組合、平和、人権、共生という、私たちの暮らしを支える根幹を築くことに、その生涯を捧げました。

(出典：賀川豊彦献身100年記念事業パネル)